



ロックフェラー家が倉紡記念館を見学

世界的な財閥として知られるアメリカのロックフェラー家。10月19日にその当主が倉敷を訪れ、倉紡記念館も見学されました。

ロックフェラー家といえば石油業や軍事産業、金融業等さまざまな企業を傘下に収め、モルガン、メロンと並ぶアメリカの三大財閥のひとつといわれています。

19世紀中ごろ、現当主の曾祖父にあたる方が石油事業をおこし事業を急成長させ、その後さらに事業を拡大させていきました。一家の中にはアメリカの副大統領や大銀行家も出る等、「ロックフェラー家はアメリカの資本主義そのもの」という人もいるほどです。



今回お見えになったのは、ロックフェラー家の現当主、デビッド・ロックフェラー・ジュニアさんとその夫人スーザンさんです。
(写真提供：倉敷市)

倉敷市のアテンドで真備町にてぶどう狩りの体験をされた後、倉敷美観地区を訪れ、大原美術館と倉紡記念館の見学をされたのです。

倉紡記念館では滞在時間に限りがあり、主として第1室と第2室を見ていただきました。第2室では、今春のG7倉敷労働雇用大臣会合で各国大臣にご案内した大原孫三郎の業績を説明すると、クラボウが(孫三郎が)100年以上前から労働環境改善や従業員の生活環境改善、さらには社会貢献に取り組んでいたことにとっても興味を持たれていました。



▲ 倉紡記念館をご見学 (写真提供：倉敷市)

クリスマスデコレーション

クリスマスが今年もやってくる。倉敷アイビースクエアでは11月9〜10日にクリスマスの飾りつけを行いました。

クリスマスツリーは昨年同様フロント前とレストラン前の廊下に2本、多目的・挙式スペース「メタセコイア」前という4本に加え、今年はストリートピアノ横にも設置しました。

そして、NPO法人食空間コーディネーター協会の方々によるテーブルコーディネートはレストラン前の廊下にそれぞれ施しました。

アイビーの年末の風物詩としてすっかり定着しました。観光で来られた皆さんがそれぞれの

デコレーションの前で記念撮影をされているところをよく見かけます。
(総務部 高橋 亮輔 記)



ストリートピアノ横に設置したツリー



レストラン前のツリーとテーブルコーディネート